

CGF再生療法(次世代PRP再生療法)

- 血液中に含まれる血小板とフィブリン。これらは止血に重要な役割を果たします。
- 自分の血液内から、濃縮された止血成分を取り出して使用することで、インプラント手術時のキズの治りを早くしたり、骨や歯周組織の再生・回復を早めます。

PRP再生療法とは

- PRP療法とは患者さま自身の血液を使用した再生療法のひとつです。血小板を濃縮したPRP(Platelet Rich Plasma: 多血小板血漿)を用います。血小板に含まれている細胞増殖因子が、骨や歯茎など歯周辺組織の再生や回復を早めてくれます。
- 手術後の治癒が早くなる画期的なPRP療法ですが、機械の扱いが非常に難しかったことと、凝固剤としてウシやヒトのトロンビン(たんぱく質分解酵素)などを加えなければ使うことができない点がデメリットでした。

CGFの活用方法

- 骨を増やしたい場所に、埋め込む
- キズの治りを早くするために、骨充填剤(人工骨)と混ぜる
- 骨誘導再生法(GBR)を行う際の、骨造成を誘導するためのメンブレンとして使用
- 自分の血液を使用するので、感染リスクがほとんどなくなることや、自分の骨を移植する自家骨移植と比べると血液採取の針の痛みだけなので、骨移植のような痛みも出ないというメリットがあります。

CGF再生療法の流れ

1. 採血した血液を遠心分離機(メディフュージ)にかけます。

CGF作製専用のフィブリングルを作製するのに要する時間は、15分程度です。

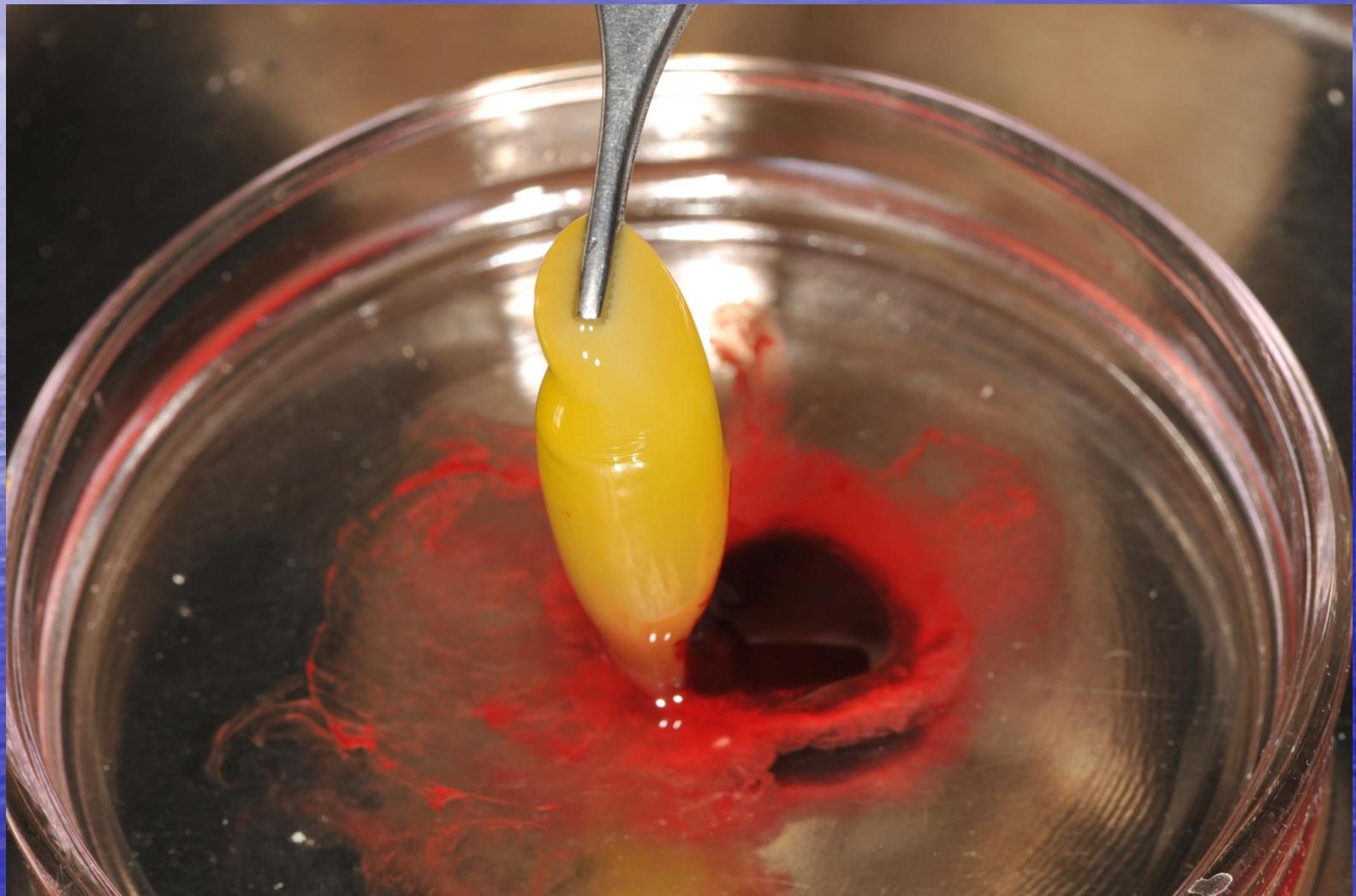


2. 血小板濃縮フィブリン液を抽出します。

抽出したフィブリン液は人工骨と混ぜたり、手術終了後に創傷を洗浄するのに使用します。自己血液から抽出されたフィブリン液を併用することで、感染リスクをより少なくすることができます。



3. 血小板濃縮フィブリングルを取り出します。



患者様の血液を遠心分離機(メディフィージ)にかけただけですので、添加物が一切入っていません。

最新の再生医療機器を使用すれば、回転数や回転時間を調整することによって、このような感染リスクの少ない血小板濃縮フィブリンゲルを作製できます。

4. 再生治療に用います。

できたフィブリンゲルは、骨を増やしたい部分に埋入したり、平たくつぶしてメンブレンとして使用したりします。